



学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	先端修復と精密技工
担当者	河合拓人
単位数（時間数）	30 時間
学習方法	実習
教科書・参考書	ベーシックプレスセラミックス 失敗しないためのプレスセラミックスガイド 赤坂政彦 著

<p>授業概要と目的</p> <p>一般的に経験年数の浅い技工士には自費の仕事はハードルの高いイメージがあると思われる、そこで自費の技工物の中でも比較的手の付けやすいプレスセラミックスを使用することで自費の技工に対するハードルを下げられればと思う。</p> <p>臨床での模型製作の流れを理解する。</p> <p>プレスセラミックスの材質について理解する。</p> <p>プレスセラミックスインレー製作の流れを理解する。</p> <p>プレスセラミックスを使用したラミネートベニア製作の流れを理解する。</p>
---

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標 (GIO)	「授業内容」 到達目標 (SB0s)	担当者
1	前期	オリエンテーション プレスセラミックスの製作プロセスを理解する	プレスセラミックスを概説できる	河合拓人
2	前期	インレー模型製作を理解する	臨床模型をきれいに作るポイントを列挙する	河合拓人
3	前期	インレー模型製作を習得する	臨床模型をきれいに作るができる	河合拓人
4	前期	インレーワックスアップ理解する	適合の良いインレーをワックスアップするポイントを列挙できる	河合拓人
5	前期	インレーワックスアップを習得する	適合の良いインレーをワックスアップできる	河合拓人
6	前期	パターン埋没、プレスを習得する	鑄造とプレスの違いを列挙し、トラブルの少ない埋没法を説明できる	河合拓人
7	前期	プレス体掘り出しを理解する	効率的かつチップングさせない掘り出し方ができる	河合拓人
8	前期	適合、調整法を習得する	干渉部分の見つけ方を列挙し、調整方法を説明できる	河合拓人

9	前期	適合、調整完了、ステインを習得する	基本的なベースシェードの作り方、ステインの塗り方を概説し実施できる	河合拓人
10	前期	研磨を習得する	グレース後の調整、研磨方法を概説し実施できる	河合拓人
11	前期	ラミネートベニアワックスアップを習得する	シンメトリーにワックスアップするポイントを列挙できる	河合拓人
12	前期	ラミネートベニアワックスアップを習得する	シンメトリーにワックスアップできる	河合拓人
13	前期	ラミネートベニアワックスアップを習得する	審美性を考慮したワックスアップができる	河合拓人
14	前期	パターン埋没、プレスを習得する	失敗しないインゴット選択を概説できる	河合拓人
15	前期	プレス体掘り出しを習得する	失敗しないインゴット選択ができる	河合拓人
16	前期	適合、調整、形態修正を習得する	表面性状の見方、つけ方を概説できる	河合拓人
17	前期	形態修正を習得する	特徴的な表面性状を考慮し付与できる	河合拓人
18	前期	ステインを習得する	疑似支台歯を利用するメリットを述べる	河合拓人
19	前期	ステインを習得する	疑似支台歯を利用するメリットを踏まえステインを実施できる	河合拓人
20	前期	研磨を習得する	ラミネートベニアを適切に研磨ができる	河合拓人
成績評価方法		提出物による評価		
準備学習(授業時間外に必要な学習内容)				

学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	先端修復と精密技工
担当者	吉川俊史
単位数（時間数）	60 時間
学習方法	実習
教科書・参考書	最新歯科技工士教本 口腔・顔面解剖学 出版社：医歯薬出版株式会社

授業概要と目的
<p>歯根を含め歯牙全体を再現することで天然歯の形態の特徴を理解する。</p> <p>天然歯の構造を理解しポーセレン築盛法を身につける。</p> <p>天然歯とポーセレンの構造の違いを認識する。</p> <p>歯の形態による歯周組織への調和を考察する。</p> <p>歯科技工士として、歯科技工所等で臨床経験のある教員がその経験を活かして授業を行う。</p>

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標 (GIO)	「授業内容」 到達目標 (SB0s)	担当者
1	通年	上顎中切歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。 上顎中切歯の歯根の特徴、歯冠と歯根のつながりを理解する。	上顎中切歯にみられる特徴を説明できる。 天然歯の観察を行い歯冠と歯根の流れを理解する。	吉川俊史
2	通年	ポーセレンを用い上顎中切歯の歯根部を再現することで歯根の特徴を理解する。	上顎中切歯の歯根の特徴を理解する。 オペーシャスボディポーセレンの築盛ができる。 ポーセレンファーンレスで焼成操作ができる。	吉川俊史
3	通年	適正なボディポーセレンの築盛、カットバック、エナメルポーセレンの築盛を行うため上顎中切歯の天然歯の内部構造を理解する。	ボディポーセレンの築盛ができる。 歯の内部構造を考慮したカットバックができる。 エナメルポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
4	通年	上顎中切歯にみられる特徴をインターナルステインで表現する。	インターナルステインの操作ができる。	吉川俊史

5	通年	エナメル質に現れる特徴を理解する。	ラスターポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
6	通年	形態修正を行い天然歯の特徴を再現する。	適切なバーポイントを選択して形態修正ができる。	吉川俊史
7	通年	上顎側切歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。 上顎中切歯の歯根の特徴、歯冠と歯根のつながりを理解する。	上顎側切歯にみられる特徴を説明できる。 天然歯の観察を行い歯牙全体のつながりを理解する。	吉川俊史
8	通年	ポーセレンを用い上顎側切歯の歯根部を再現することで歯根の特徴を理解する。	上顎側切歯の歯根の特徴を理解する。 オペーシャスボディポーセレンの築盛ができる。 ポーセレンファーンネスで焼成操作ができる。	吉川俊史
9	通年	適正なボディーポーセレンの築盛、カットバック、エナメルポーセレンの築盛を行うため上顎側切歯の内部構造を理解する。	ボディーポーセレンの築盛ができる。 歯の内部構造を考慮したカットバックができる。 エナメルポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
10	通年	上顎側切歯にみられる特徴をインターナルステインで表現する。 エナメル質に現れる特徴を理解する。	インターナルステインの操作ができる。 ラスターポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
11	通年	形態修正を行い天然歯の特徴を再現する。	適切なバーポイントを選択して形態修正ができる。	吉川俊史
12	通年	上顎犬歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。 上顎中切歯の歯根の特徴、歯冠と歯根のつながりを理解する。	上顎犬歯にみられる特徴を説明できる。 天然歯の観察を行い歯冠と歯根の流れを理解する。	吉川俊史
13	通年	ポーセレンを用い上顎犬歯の歯根部を再現することで歯根の特徴を理解する。	上顎犬歯の歯根の特徴を理解する。 オペーシャスボディポーセレンの築盛ができる。 ポーセレンファーンネスで焼成操作ができる。	吉川俊史
14	通年	適正なボディーポーセレンの築盛、カットバック、エナメルポーセレン	ボディーポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史

		の築盛を行うため上顎犬歯の天然歯の内部構造を理解する。	歯の内部構造を考慮したカットバックができる。 エナメルポーセレンの築盛ができる。	
15	通年	上顎犬歯にみられる特徴をインターナルステインで表現する。 エナメル質に現れる特徴を理解する。	インターナルステインの操作ができる。 ラスターポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
16	通年	形態修正を行い天然歯の特徴を再現する。	適切なバーポイントを選択して形態修正ができる。	吉川俊史
17	通年	上顎第一小臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。 上顎中切歯の歯根の特徴、歯冠と歯根のつながりを理解する。	上顎第一小臼歯にみられる特徴を説明できる。 天然歯の観察を行い歯冠と歯根の流れを理解する。	吉川俊史
18	通年	ポーセレンを用い上顎第一小臼歯の歯根部を再現することで歯根の特徴を理解する。	上顎第一小臼歯の歯根の特徴を理解する。 オペーシャスボディポーセレンの築盛ができる。 ポーセレンファーンネスで焼成操作ができる。	吉川俊史
19	通年	適正なボディーポーセレンの築盛、カットバック、エナメルポーセレンの築盛を行うため上顎中切歯の天然歯の内部構造を理解する。	ボディーポーセレンの築盛ができる。 歯の内部構造を考慮したカットバックができる。 エナメルポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
20	通年	上顎第一小臼歯にみられる特徴をインターナルステインで表現する。 エナメル質に現れる特徴を理解する。	インターナルステインの操作ができる。 ラスターポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
21	通年	形態修正を行い天然歯の特徴を再現する。 エクスターナルステインを施し天然歯の着色を表現する。	適切なバーポイントを選択して形態修正ができる。 エクスターナルステインの操作ができる。	吉川俊史
22	通年	上顎第二小臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。 上顎中切歯の歯根の特徴、歯冠と歯根のつながりを理解する。	上顎第二小臼歯にみられる特徴を説明できる。 天然歯の観察を行い歯冠と歯根の流れを理解する。	吉川俊史

23	通年	ポーセレンを用い上顎第二小臼歯の歯根部を再現することで歯根の特徴を理解する。	上顎第二小臼歯の歯根の特徴を理解する。 オペーシヤスボディポーセレンの築盛ができる。 ポーセレンファーンネスで焼成操作ができる。	吉川俊史
24	通年	適正なボディポーセレンの築盛、カットバック、エナメルポーセレンの築盛を行うため上顎中切歯の天然歯の内部構造を理解する。	ボディポーセレンの築盛ができる。 歯の内部構造を考慮したカットバックができる。 エナメルポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
25	通年	上顎第二小臼歯にみられる特徴をインターナルステインで表現する。 エナメル質に現れる特徴を理解する。	インターナルステインの操作ができる。 ラスターポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
26	通年	形態修正を行い天然歯の特徴を再現する。 エクスターナルステインを施し天然歯の着色を表現する。	適切なバーポイントを選択して形態修正ができる。 エクスターナルステインの操作ができる。	吉川俊史
27	通年	上顎第一大臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。 上顎中切歯の歯根の特徴、歯冠と歯根のつながりを理解する。	上顎第一大臼歯にみられる特徴を説明できる。 天然歯の観察を行い歯冠と歯根の流れを理解する。	吉川俊史
28	通年	ポーセレンを用い上顎第一大臼歯の歯根部を再現する。ことで歯根の特徴を理解する。	上顎第一大臼歯の歯根の特徴を理解する。 オペーシヤスボディポーセレンの築盛ができる。 ポーセレンファーンネスで焼成操作ができる。	吉川俊史
29	通年	適正なボディポーセレンの築盛、カットバック、エナメルポーセレンの築盛を行うため上顎中切歯の天然歯の内部構造を理解する。	ボディポーセレンの築盛ができる。 歯の内部構造を考慮したカットバックができる。 エナメルポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
30	通年	上顎第一大臼歯にみられる特徴をインターナルステインで表現する。	インターナルステインの操作ができる。	吉川俊史

		エナメル質に現れる特徴を理解する。	ラスターポーセレンの築盛ができる。	
31	通年	形態修正を行い天然歯の特徴を再現する。 エクスターナルステインを施し天然歯の着色を表現する。	適切なバーポイントを選択して形態修正ができる。 エクスターナルステインの操作ができる。	吉川俊史
32	通年	上顎第二大臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。 上顎中切歯の歯根の特徴、歯冠と歯根のつながりを理解する。	上顎第二大臼歯にみられる特徴を説明できる。 天然歯の観察を行い歯冠と歯根の流れを理解する。	吉川俊史
33	通年	ポーセレンを用い上顎第二大臼歯の歯根部を再現することで歯根の特徴を理解する。	上顎第二大臼歯の歯根の特徴を理解する。 オペーシャスボディポーセレンの築盛ができる。 ポーセレンファーンネスで焼成操作ができる。	吉川俊史
34	通年	適正なボディポーセレンの築盛、カットバック、エナメルポーセレンの築盛を行うため上顎中切歯の天然歯の内部構造を理解する。	ボディポーセレンの築盛ができる。 歯の内部構造を考慮したカットバックができる。 エナメルポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
35	通年	上顎第二大臼歯にみられる特徴をインターナルステインで表現する。 エナメル質に現れる特徴を理解する。	インターナルステインの操作ができる。 ラスターポーセレンの築盛ができる。	吉川俊史
36	通年	形態修正を行い天然歯の特徴を再現する。 エクスターナルステインを施し天然歯の着色を表現する。	適切なバーポイントを選択して形態修正ができる。 エクスターナルステインの操作ができる。	吉川俊史
37	通年	完成した有根ポーセレンを排列して歯牙の歯周組織への調和を理解する 天然歯列弓の機能を理解する。	前歯部から臼歯部にかけての色調の変化を認識する。 ファセット等天然歯列の機能性を認識する。	吉川俊史
38	通年	石膏をレジンに置き換えるため型を取る。	複印象材を扱える。	吉川俊史
39	通年	レジンを流し込み有根ポーセレンの土台を作る。	レジン操作ができる。	吉川俊史



40	通年	作品提出のため研磨、仕上げをして作品を完成させる。	適切な研磨工程を行える。	吉川俊史
成績評価方法		提出物による評価		
準備学習(授業時間外に必要な学習内容)		理解を深めるために、実習の工程を復習して授業に臨むこと。		

学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	先端修復と精密技工
担当者	山田和伸
単位数(時間数)	30 時間
学習方法	実習
教科書・参考書	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学(医歯薬出版株式会社)

<p>授業概要と目的</p> <p>前歯部の審美的修復法の一つである、オールセラミッククラウン(ポーセレン焼付ジルコニアクラウン)を製作するために必要な知識を身につけ、さらにインターナルステイン法による天然歯の色調再現ができるように理解を深める。</p> <p>オールセラミッククラウン製作する材料を理解する。</p> <p>天然歯とセラミッククラウンの色調を理解する。</p> <p>天然歯とセラミッククラウンの形態を理解する。</p> <p>インターナルステインを用いた天然歯の色調再現方法を習得する。</p> <p>歯科技工士として、歯科技工所等で臨床経験のある教員がその経験を活かして授業を行う。</p>
--

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標(GIO)	「授業内容」 到達目標(SBOs)	担当者
1	後期	天然歯の色調 天然歯の色調の特徴を理解する。	天然歯にみられる色調の特徴を説明できる。	山田和伸
2	後期	コーピングの処理からボディー ポーセレン築盛まで コーピング調整の方法とウォッシュ シュベイクを理解する。	ジルコニアコーピングにウォッシュ シュベイクの築盛操作ができる。 シェードベースポーセレンとオペ ーシャスボディポーセレンを配合 して築盛できる。	山田和伸

		ポーセレンを用いた基本色調の構築を理解する。	ポーセレンファーンで焼成操作ができる。	
3	後期	ボディーポーセレンの築盛 インターナルステインを施すにあたり必要なボディーポーセレンの築盛、カットバックができるように歯牙の内部構造を理解する。	歯牙構造を考慮したボディーポーセレンの築盛、カットバックができる。	山田和伸
4	後期	ボディーポーセレンの築盛 インターナルステインを施すにあたり必要なボディーポーセレンの築盛、カットバックができるように歯牙の内部構造を理解する。	歯牙構造を考慮したボディーポーセレンの築盛、カットバックができる。	山田和伸
5	後期	ステイン前の調整 インターナルステインを施すにあたり必要な内部構造を理解する。	インターナルステインのベースとなるように内部構造を調整できる。	山田和伸
6	後期	インターナルステイン操作 天然歯にみられる色調的特徴を理解する。 インターナルステインの操作方法を体得する。	天然歯の色調を理解し、インターナルステインの設計ができる。 インターナルステインの操作ができる。	山田和伸
7	後期	ラスターポーセレンの築盛 天然にみられる特徴を理解し、色調表現に適切なラスターポーセレンの種類を理解する。	ラスターポーセレンの特徴を説明できる。 ラスターポーセレンを築盛できる。	山田和伸
8	後期	ラスターポーセレンの築盛 天然にみられる特徴を理解し、色調表現に適切なラスターポーセレンの種類を理解する。	ラスターポーセレンの特徴を説明できる。 ラスターポーセレンを築盛できる。	山田和伸
9	後期	形態修正 天然歯の形態を考慮した中切歯の形態修正方法を理解する。	形態修正用のバーポイント類が使用できる。 形態修正ができる。	山田和伸
10	後期	仕上げ・完成 仕上げ、完成物の色調の確認をして天然歯との違いを理解する。	研磨、グレーズ等、仕上げ操作ができる。	山田和伸

成績評価方法	提出物による評価
準備学習(授業時間外に必要な学習内容)	理解を深めるために、実習の工程を復習して授業に臨むこと。

学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	天然歯形態と微細再現
担当者	吉川俊史 井上宏美 小森丈
単位数(時間数)	120 時間
学習方法	実習
教科書・参考書	最新歯科技工士教本 口腔・顔面解剖学 出版社：医歯薬出版株式会社 「ネイチャーズ・モルフォロジー」クインテッセンス出版

授業概要と目的
<p>天然歯の彫刻を行うことで天然歯の形態的特徴、機能を学ぶ。</p> <p>また、天然歯とクラウンで異なる形態的要件を理解する。</p> <p>歯面の特徴をあらゆる角度から観察する目を養う。</p> <p>歯種の異なる細部の特徴を理解する。</p> <p>天然歯形態の表現法を修得する。</p> <p>歯の形態による歯周組織への調和を考察する。</p> <p>歯科技工士として、歯科技工所等で臨床経験のある教員がその経験を活かして授業を行う。</p>

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標 (GIO)	「授業内容」 到達目標 (SBOs)	担当者
1	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.1 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎中切歯の説明」 上顎中切歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
2	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.1 の彫刻を行い上顎中切歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎中切歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
3	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.2 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎中切歯の説明」 上顎中切歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史

4	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.2 の彫刻を行い上顎中切歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎中切歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
5	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.3 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎中切歯の説明」 上顎中切歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
6	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.3 の彫刻を行い上顎中切歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎中切歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
7	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.4 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎中切歯の説明」 上顎中切歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
8	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.4 の彫刻を行い上顎中切歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎中切歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
9	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.5 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎中切歯の説明」 上顎中切歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
10	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.5 の彫刻を行い上顎中切歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎中切歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
11	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.6 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎中切歯の説明」 上顎中切歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
12	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.6 の彫刻を行い上顎中切歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎中切歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
13	前期	上顎中切歯の形態 東海モデルNo.7 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎中切歯の説明」 上顎中切歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
14	前期	上顎中切歯の形態	「歯形彫刻」	吉川俊史

		東海モデルNo.7 の彫刻を行い上顎中切歯の特徴と表現方法を修得する。	適切なバーポイントを選択し、上顎中切歯にみられる特徴を表現できる。	
15	前期	上顎側切歯の形態 東海モデルNo.10 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎側切歯の説明」 上顎側切歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
16	前期	上顎側切歯の形態 東海モデルNo.10 の彫刻を行い上顎側切歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎側切歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
17	前期	上顎犬歯の形態 東海モデルNo.14 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎犬歯の説明」 上顎犬歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
18	前期	上顎犬歯の形態 東海モデルNo.14 の彫刻を行い上顎犬歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎犬歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
19	前期	上顎犬歯の形態 東海モデルNo.15 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎犬歯の説明」 上顎犬歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
20	前期	上顎犬歯の形態 東海モデルNo.15 の彫刻を行い上顎犬歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎犬歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
21	前期	上顎第一小臼歯の形態 東海モデルNo.18 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎第一小臼歯の説明」 上顎第一小臼歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
22	前期	上顎第一小臼歯の形態 東海モデルNo.18 の彫刻を行い上顎第一小臼歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎第一小臼歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
23	前期	上顎第一小臼歯の形態	「上顎第一小臼歯の説明」 上顎第一小臼歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史

		東海モデルNo.19 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。		
24	前期	上顎第一小臼歯の形態 東海モデルNo.19 の彫刻を行い上顎第一小臼歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎第一小臼歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
25	前期	上顎第二小臼歯の形態 東海モデルNo.21 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎第二小臼歯の説明」 上顎第二小臼歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
26	前期	上顎第二小臼歯の形態 東海モデルNo.21 の彫刻を行い上顎第二小臼歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎第二小臼歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
27	前期	上顎第二小臼歯の形態 東海モデルNo.22 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎第二小臼歯の説明」 上顎第二小臼歯にみられる特徴を説明できる。	吉川俊史
28	前期	上顎第二小臼歯の形態 東海モデルNo.22 の彫刻を行い上顎第二小臼歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎第二小臼歯にみられる特徴を表現できる。	吉川俊史
29	前期	上顎大臼歯の形態 東海モデルNo.23 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎第一大臼歯の説明」 上顎第一大臼歯にみられる特徴を説明できる。	小森丈
30	前期	上顎大臼歯の形態 東海モデルNo.23 の彫刻を行い上顎大臼歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、上顎大臼歯にみられる特徴を表現できる。	小森丈
31	前期	上顎大臼歯の形態 東海モデルNo.24 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「上顎第一大臼歯の説明」 上顎第一大臼歯にみられる特徴を説明できる。	小森丈
32	前期	上顎大臼歯の形態	「歯形彫刻」	小森丈

		東海モデルNo.24 の彫刻を行い上顎大臼歯の特徴と表現方法を修得する。	適切なバーポイントを選択し、上顎大臼歯にみられる特徴を表現できる。	
33	前期	下顎中切歯の形態 東海モデルNo.26 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「下顎中切歯の説明」 下顎中切歯にみられる特徴を説明できる。	小森丈
34	前期	下顎中切歯の形態 東海モデルNo.26 の彫刻を行い下顎中切歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、下顎中切歯にみられる特徴を表現できる。	小森丈
35	前期	下顎側切歯の形態 東海モデルNo.27 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「下顎側切歯の説明」 下顎側切歯にみられる特徴を説明できる。	小森丈
36	前期	下顎側切歯の形態 東海モデルNo.27 の彫刻を行い下顎側切歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、下顎側切歯にみられる特徴を表現できる。	小森丈
37	前期	下顎犬歯の形態 東海モデルNo.30 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「下顎犬歯の説明」 下顎犬歯にみられる特徴を説明できる。	小森丈
38	前期	下顎犬歯の形態 東海モデルNo.30 の彫刻を行い下顎犬歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、下顎犬歯にみられる特徴を表現できる。	小森丈
39	前期	下顎犬歯の形態 東海モデルNo.31 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「下顎犬歯の説明」 下顎犬歯にみられる特徴を説明できる。	小森丈
40	前期	下顎犬歯の形態 東海モデルNo.31 の彫刻を行い下顎犬歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、下顎犬歯にみられる特徴を表現できる。	小森丈
41	前期	下顎第一小臼歯の形態	「下顎第一小臼歯の説明」 下顎第一小臼歯にみられる特徴を説明できる。	井上宏美

		東海モデルNo.33 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。		
42	前期	下顎第一小臼歯の形態 東海モデルNo.33 の彫刻を行い下顎第一小臼歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、下顎第一小臼歯にみられる特徴を表現できる。	井上宏美
43	前期	下顎第一小臼歯の形態 東海モデルNo.35 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「下顎第一小臼歯の説明」 下顎第一小臼歯にみられる特徴を説明できる。	井上宏美
44	前期	下顎第一小臼歯の形態 東海モデルNo.35 の彫刻を行い下顎第一小臼歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、下顎第一小臼歯にみられる特徴を表現できる。	井上宏美
45	前期	下顎第二小臼歯の形態 東海モデルNo.36 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「下顎第二小臼歯の説明」 下顎第二小臼歯にみられる特徴を説明できる。	井上宏美
46	前期	下顎第二小臼歯の形態 東海モデルNo.36 の彫刻を行い下顎第二小臼歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、下顎第二小臼歯にみられる特徴を表現できる。	井上宏美
47	前期	下顎第二小臼歯の形態 東海モデルNo.37 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「下顎第二小臼歯の説明」 下顎第二小臼歯にみられる特徴を説明できる。	井上宏美
48	前期	下顎第二小臼歯の形態 東海モデルNo.37 の彫刻を行い下顎第二小臼歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、下顎第二小臼歯にみられる特徴を表現できる。	井上宏美
49	前期	下顎大臼歯の形態 東海モデルNo.39 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「下顎大臼歯の説明」 下顎大臼歯にみられる特徴を説明できる。	井上宏美
50	前期	下顎大臼歯の形態	「歯形彫刻」	井上宏美



		東海モデルNo.39 の彫刻を行い下顎大臼歯の特徴と表現方法を修得する。	適切なバーポイントを選択し、下顎大臼歯にみられる特徴を表現できる。	
51	前期	下顎大臼歯の形態 東海モデルNo.40 の彫刻を行い天然歯にみられる特徴を理解する。	「下顎大臼歯の説明」 下顎大臼歯にみられる特徴を説明できる。	井上宏美
52	前期	下顎大臼歯の形態 東海モデルNo.40 の彫刻を行い下顎大臼歯の特徴と表現方法を修得する。	「歯形彫刻」 適切なバーポイントを選択し、下顎大臼歯にみられる特徴を表現できる。	井上宏美
53	通年	上顎中切歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「上顎中切歯の説明」 上顎中切歯にみられる特徴を説明する。 中切歯の3形態の違いを説明できる。	井上宏美
54	通年	歯牙彫刻を行い上顎中切歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 上顎中切歯の特徴を再現する。 他前歯との違いを比較する。	井上宏美
55	通年	上顎側切歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「上顎側切歯の説明」 上顎側切歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
56	通年	歯牙彫刻を行い上顎側切歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 上顎側切歯の特徴を再現する。 他前歯との違いを比較する。	井上宏美
57	通年	上顎犬歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「上顎犬歯の説明」 上顎犬歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
58	通年	歯牙彫刻を行い上顎犬歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 上顎犬歯の特徴を再現する。 他前歯との違いを比較する。	井上宏美
59	通年	上顎第一小臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「上顎第一小臼歯の説明」 上顎第一小臼歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
60	通年	歯牙彫刻を行い上顎第一小臼歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 上顎第一小臼歯の特徴を再現する。	井上宏美

			上顎第二小臼歯との違いを比較する。	
61	通年	上顎第二小臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「上顎第二小臼歯の説明」 上顎第二小臼歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
62	通年	歯牙彫刻を行い上顎第二小臼歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 上顎第二小臼歯の特徴を再現する。 上顎第一小臼歯との違いを比較する。	井上宏美
63	通年	上顎第一大臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「上顎第一大臼歯の説明」 上顎第一大臼歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
64	通年	歯牙彫刻を行い上顎第一大臼歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 上顎第一大臼歯の特徴を再現する。 上顎第二大臼歯との違いを比較する。	井上宏美
65	通年	上顎第二大臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「上顎第二大臼歯の説明」 上顎第二大臼歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
66	通年	歯牙彫刻を行い上顎第二大臼歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 上顎第二大臼歯の特徴を再現する。 上顎第一大臼歯との違いを比較する。	井上宏美
67	通年	下顎中切歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「下顎中切歯の説明」 下顎中切歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
68	通年	歯牙彫刻を行い下顎中切歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 下顎中切歯の特徴を再現する。 他前歯との違いを比較する。	井上宏美
69	通年	歯牙彫刻を行い下顎側切歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「下顎側切歯の説明」 下顎側切歯の特徴を再現する。 他前歯との違いを比較する。	井上宏美
70	通年	下顎側切歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「下顎側切歯の説明」 下顎側切歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美

71	通年	下顎犬歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「下顎犬歯の説明」 下顎犬歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
72	通年	歯牙彫刻を行い下顎犬歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 下顎犬歯の特徴を再現する。 他前歯との違いを比較する。	井上宏美
73	通年	下顎第一小臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「下顎第一小臼歯の説明」 下顎第一小臼歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
74	通年	歯牙彫刻を行い下顎第一小臼歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 下顎第一小臼歯の特徴を再現する。 下顎第二小臼歯との違いを比較する。	井上宏美
75	通年	下顎第二小臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「下顎第二小臼歯の説明」 下顎第二小臼歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
76	通年	歯牙彫刻を行い下顎第二小臼歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	下顎第二小臼歯の特徴を再現する。 下顎第一小臼歯との違いを比較する。	井上宏美
77	通年	下顎第一大臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「下顎第一大臼歯の説明」 下顎第一大臼歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
78	通年	歯牙彫刻を行い上顎第一大臼歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 下顎第一大臼歯の特徴を再現する。 下顎第二大臼歯との違いを比較する。	井上宏美
79	通年	下顎第二大臼歯の解剖学的特徴及び形態的傾向を理解する。	「下顎第二大臼歯の説明」 下顎第二大臼歯にみられる特徴を説明する。	井上宏美
80	通年	歯牙彫刻を行い下顎第二大臼歯の特徴を理解し再現する操作、方法を身につける。	「歯形彫刻」 下顎第二大臼歯の特徴を再現する。 下顎第一大臼歯との違いを比較する。	井上宏美
成績評価方法		提出物による評価		

準備学習(授業時間外に必要な学習内容)	天然歯にはそれぞれ無数の特徴があるため基本的特徴や傾向を踏まえて空き時間に天然歯の観察を行うこと。理解を深めるために、実習の工程を復習して授業に臨むこと。
留意事項	

学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	口腔インプラント学
担当者	呉林守
単位数(時間数)	18 時間
学習方法	実習
教科書・参考書	

授業概要と目的
<p>インプラントにかかわる技工物を製作するにあたり、インプラント治療におけるチェアサイドの処置を疑似的に体験しインプラント治療全体の理解を深める。</p> <p>インプラント(人工歯根)の上部構造体だけでなく、インプラント治療全体の理解を深める。</p> <p>歯科技工士として、歯科技工所を開設するものがその経験を活かして授業を行う。</p>

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標(GIO)	「授業内容」 到達目標(SBOs)	担当者
1	通年	オープントレー製作 インプラント印象にあたり必要なトレーの形状を理解し、製作方法を身につける。	インプラント印象におけるオープントレーの必要要件を述べる。	呉林守
2	通年	オープントレー製作 インプラント印象にあたり必要なトレーの形状を理解し、製作方法を身につける。	インプラント印象におけるオープントレーの必要要件を述べる。	呉林守
3	通年	ドリリング 疑似オペを通してドリリングの手順、器具、機材の特徴を理解する。	ドリリングの手順を説明できる。 使用器具、機材の特徴を述べる。	呉林守
4	通年	ドリリング	ドリリングの手順を説明できる。 使用器具、機材の特徴を述べる。	呉林守

		疑似オペを通してドリリングの 手順、器具、機材の特徴を理解 する。		
5	通年	インプラント埋入 疑似オペを通してインプラント 埋入の手順、その後の処置を理 解する。	インプラント埋入手順を述べる。	呉林守
6	通年	インプラント埋入 疑似オペを通してインプラント 埋入の手順、その後の処置を理 解する。	インプラント埋入手順を述べる。	呉林守
7	通年	インプラント印象 インプラント埋入後の印象での 注意点を理解する。	インプラント印象と通常的印象で の違いを比較する。	呉林守
8	通年	インプラント印象 インプラント埋入後の印象での 注意点を理解する。	インプラント印象と通常的印象で の違いを比較する。	呉林守
9	通年	インプラント印象 インプラントレプリカの取り扱 い方を身につける。	インプラントレプリカの取り扱い の注意点を述べる。 インプラントレプリカを適切な位 置に設置できる。	呉林守
10	通年	インプラント印象 インプラントレプリカの取り扱 い方を身につける。	インプラントレプリカの取り扱い の注意点を述べる。 インプラントレプリカを適切な位 置に設置できる。	呉林守
11	通年	模型製作 ガム材注入から石膏注入までの 流を理解し、インプラント模型 の製作方法を身につける。	インプラント模型製作における注 意点を述べる。	呉林守
12	通年	模型製作 ガム材注入から石膏注入までの 流を理解し、インプラント模型 の製作方法を身につける。	インプラント模型製作における注 意点を述べる。	呉林守
成績評価方法		提出物による評価		
準備学習(授業時間外 に必要な学習内容)				

学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	口腔インプラント学
担当者	村上弘
単位数（時間数）	12 時間
学習方法	講義
教科書・参考書	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学（医歯薬出版株式会社）

<p>授業概要と目的</p> <p>近年の歯科技工技術に必要な知識を身につけるために、歯の欠損に対しての口腔インプラント治療の概要を理解する。インプラント（人工歯根）の上部構造体だけでなく、インプラント治療全体の理解を深める。</p> <p>歯科医師として、歯科医院等で臨床経験のある教員がその経験を活かして授業を行う。</p>
--

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標 (GIO)	「授業内容」 到達目標 (SB0s)	担当者
1	前期	口腔インプラントの歴史、種類、材料について理解する。	インプラント治療の歴史を概説できる。 インプラント体の種類、材料を列挙できる。	村上弘
2	前期	口腔インプラントに関するチェアサイド、ラボサイドの流れを理解する。	インプラント治療における全体の流れを説明できる。	村上弘
3	前期	インプラントの外科的処置を理解する。	インプラントにおける外科的処置を概説できる。	村上弘
4	前期	インプラントの外科的処置における注意点を理解する。	インプラントにおける外科的処置の注意点について概説できる。	村上弘
5	前期	インプラントの上部構造体を理解する。	インプラントの構造が説明できる。	村上弘
6	前期	インプラント補綴における補綴物の必要な要件を理解する。	インプラント補綴で通常のクラウンとは異なる必要要件を説明できる。	村上弘
7	前期	インプラント補綴に関する合併症を理解する。	インプラント補綴で起こりうる合併症を説明できる。	村上弘
8	前期	インプラント補綴に関するCAD/CAMの活用法、また、合併症について理解する。	インプラントの補綴におけるCAD/CAMの注意点を説明できる。	村上弘

成績評価方法	態度・習慣領域の観察結果。出欠状況。
準備学習(授業時間外に必要な学習内容)	

学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	CAD システム工学
担当者	吉川俊史
単位数(時間数)	30 時間
学習方法	実習
教科書・参考書	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編 医歯薬出版株式会社

授業概要と目的
<p>歯科用 CAD/CAM システムを理解する。CAD/CAM システムを用いた技工の技術的修得するために、実際の CAD/CAM 装置を操作して理解を深める実習を行う。</p> <p>ワックスアップをスキャンしたものからデザイン製作するダブルスキャン方式と、CAD ソフトのみでデザインする実習から学ぶ。</p> <p>歯科技工士として、歯科技工所等で臨床経験のある教員がその経験を活かして授業を行う。</p>

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標(GIO)	「授業内容」 到達目標(SBOs)	担当者
1	通年	歯科用 CAD/CAM システムを理解する。	「CAD/CAM 技工の概要」 CAD/CAM システムの構成と特徴を概説できる。	吉川俊史
2	通年	歯科用 CAD/CAM システムを理解する。	「作業模型の製作」 CAD/CAM システムを用いたスキャンを考慮した模型製作ができる。	吉川俊史

3	通年	歯科用 CAD/CAM システムを理解する。	「小白歯のワックスアップ」 CAD/CAM システムを用いたスキャンを考慮したワックスアップができる。	吉川俊史
4	通年	歯科用 CAD/CAM システムを理解する。	「小白歯のワックスアップ」 CAD/CAM システムを用いたスキャンを考慮したワックスアップができる。	吉川俊史
5	通年	歯科用 CAD/CAM システムを理解する。	「CAD でデザインする（ワックスアップのスキャン）」 ワックスアップをスキャンできる。 CAD ソフトを操作できる。	吉川俊史
6	通年	CAD ソフトの操作を理解し、コンピュータ上で立体的な歯をデザインする技術を修得する。	「CAD でデザインする」 CAD ソフトを操作して歯のデザインができる。	吉川俊史
7	通年	歯科用 CAD/CAM システムで製作したジルコニアクラウンの臨床的な仕上げを理解する。	「ジルコニアクラウンへの着色」 天然歯色調の特徴を説明できる。 ジルコニアクラウンへの着色ができる。	吉川俊史
8	通年	歯科用 CAD/CAM システムで製作したジルコニアクラウンの臨床的な仕上げを理解する。	「グレージング」 天然歯の表面性状（艶）について説明できる。	吉川俊史
9	通年	歯科用 CAD/CAM システムで製作したジルコニアクラウンの臨床的な仕上げを理解する。	「グレージング」 グレージング操作ができる。	吉川俊史



10	通年	臨床的な仕上げまでを考慮した、 歯科用 CAD/CAM システムを理解 する。	「審美性を考慮した 6 前歯のワックスアッ プ」 6 前歯の審美的形態の特徴を説明できる。	吉川俊史
11	通年	臨床的な仕上げまでを考慮した、 歯科用 CAD/CAM システムを理解 する。	「審美性を考慮した 6 前歯のワックスアッ プ」 6 前歯の特徴を備えたワックスアップがで きる。	吉川俊史
12	通年	臨床的な仕上げまでを考慮した、 歯科用 CAD/CAM システムを理解 する。	「審美性を考慮した 6 前歯のワックスアッ プ」 6 前歯のバランスに配慮したワックスアッ プができる。	吉川俊史
13	通年	臨床的な仕上げまでを考慮した、 歯科用 CAD/CAM システムを理解 する。	「審美性を考慮した 6 前歯のワックスアッ プ」 6 前歯の審美的形態を備えたワックスアッ プができる。	吉川俊史
14	通年	臨床的な仕上げまでを考慮した、 歯科用 CAD/CAM システムを理解 する。	「CAD デザイン」 CAD ソフトを操作して歯のデザインができ る。	吉川俊史
15	通年	臨床的な仕上げまでを考慮した、 歯科用 CAD/CAM システムを理解 する。	「CAD デザイン」 CAD ソフトを操作して歯のデザインができ る。	吉川俊史
16	通年	臨床的な仕上げまでを考慮した、 歯科用 CAD/CAM システムを理解 する。	「CAD デザイン」 CAD ソフトを操作して歯のデザインができ る。	吉川俊史
17	通年	臨床的な仕上げまでを考慮した、 歯科用 CAD/CAM システムを理解 する。	「CAD デザイン」 CAD ソフトを操作して歯のデザインができ る。	吉川俊史
18	通年	臨床的な仕上げまでを考慮した、 歯科用 CAD/CAM システムを理解 する。	「CAD デザイン」 CAD ソフトを操作して歯のデザインができ る。	吉川俊史

19	通年	臨床的な仕上げまでを考慮した、 歯科用 CAD/CAM システムを理解 する。	「CAD デザイン」 CAD ソフトを操作して歯のデザインが できる。	吉川俊史
20	通年	臨床的な仕上げまでを考慮した、 歯科用 CAD/CAM システムを理解 する。	「CAD デザイン」 CAD ソフトを操作して歯のデザインが できる。	吉川俊史
		実習製作物の提出（デザインデータ・ジルコニアクラウン）		
成績評価方法		実習製作物（100%）		
準備学習（授業時間外 に必要な学修内容）		授業内で完成しなかったものは提出が出来るように各自で進めること。		
留意事項				

学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	歯科医療と最新技工
担当者	小森丈
単位数（時間数）	30 時間
学習方法	実習
教科書・参考書	最新歯科技工士教本 歯科技工実習，全国歯科技工士教育協議会編集，医歯薬出版株式会社

授業概要と目的
顎顔面補綴における歯科技工士の役割を理解するために、意義と目的、装置の種類を学び、製作法を修得する。 歯科技工士として、歯科技工所等で臨床経験のある教員がその経験を活かして授業を行う。

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標 (GIO)	「授業内容」 到達目標 (SBOs)	担当者
1	前期	顎義歯製作 歯肉形成・埋没	歯肉形成ができる。 指定された方法で埋没ができる。	小森丈

2	前期	顎義歯製作 埋没・重合	義歯床用レジンの重合法の種類と特徴を列挙できる。	小森丈
3	前期	顎義歯製作 掘り出し・形態修正	重合した顎義歯を適切に掘り出せる。 顎義歯に必要な形態に形態修正できる。	小森丈
4	前期	顎義歯製作 形態修正・咬合調整	人工歯の削合の目的と方法を説明できる。 顎義歯に適切な咬合調整ができる。	小森丈
5	前期	顎義歯制作 栓塞部の形態修正	顎義歯に必要な形態的特徴を説明できる。	小森丈
6	前期	顎義歯制作 栓塞部の形態修正	栓塞部の形態修正ができる。	小森丈
7	前期	顎義歯制作 栓塞部の形態修正	栓塞部の軽量化の必要性を説明できる。	小森丈
8	前期	顎義歯制作 栓塞部の形態修正	栓塞部を含め顎義歯の必要要件を説明できる。	小森丈
9	前期	顎義歯制作 天蓋の製作	天蓋の必要要件について説明できる。	小森丈
10	前期	顎義歯制作 天蓋の製作	天蓋を製作できる。	小森丈
11	前期	顎義歯制作 天蓋部の接合	天蓋を顎義歯に接合できる。 接合時の注意点について説明できる。	小森丈
12	前期	顎義歯制作 顎義歯全体の研磨・完成	適切なバーポイントを選択して顎義歯を研磨できる。 レーズを使用して顎義歯を研磨・完成できる。	小森丈
13	前期	「顎顔面補綴装置の模型製作」 顎顔面補綴装置の模型製作法を修得する。	印象に対し、石膏を注入できる。 作業用模型の調整ができる。	小森丈
14	前期	「顎顔面領域の印象採得」 顎顔面領域の印象採得法を理解する。	顎顔面領域における印象採得法を列挙できる。	小森丈
15	前期	「顎顔面補綴装置のワックスアップ」	指定された顎顔面補綴装置のワックスアップができる。	小森丈

		顎顔面補綴装置の原型製作法を修得する。		
16	前期	「顎顔面補綴装置のワックスアップ」 顎顔面補綴装置の原型製作法を修得する。	指定された顎顔面補綴装置のワックスアップができる。	小森丈
17	前期	「顎顔面補綴装置の埋没」 顎顔面補綴装置の埋没法を修得する。	指定された方法で埋没ができる。	小森丈
18	前期	「顎顔面補綴装置の流蠟」 顎顔面補綴装置の流蠟法を修得する。	流蠟ができる。	小森丈
19	前期	「顎顔面補綴装置のシリコーン填入」 顎顔面補綴装置のシリコーン填入法を修得する。	シリコーンの色調調整ができる。 シリコーンを填入できる。	小森丈
20	前期	「顎顔面補綴装置の掘り出し、外部着色」 顎顔面補綴装置の掘り出し、形態修正法を修得する。 外部着色法を修得する。	掘り出しができる。 形態修正ができる。 外部着色ができる。	小森丈
成績評価方法		提出物による評価		
準備学習(授業時間外に必要な学習内容)		教科書を読んで予習復習し、理解を深めるよう努めること。 各製作工程をノートにまとめておくこと。		

学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	管理学と最新技工
担当者	井上宏美
単位数(時間数)	24 時間
学習方法	講義
教科書・参考書	

授業概要と目的
<p>歯科技工業界を取り巻く環境は日々変化している。管理と技工の科目を通して臨床や歯科技工業界の理解を深める。歯科技工士として、歯科技工所等で臨床経験のある教員がその経験を活かして授業を行う。</p>

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標 (GIO)	「授業内容」 到達目標 (SB0s)	担当者
1～16	前期	臨床と歯科技工業界	臨床と歯科技工業界について理解する。	井上宏美
成績評価方法		態度・習慣領域の観察結果		
準備学習(授業時間外に必要な学習内容)		理解を深めるために、復習して授業に臨むこと。		

学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	管理学と最新技工
担当者	白石浩一
単位数(時間数)	6時間
学習方法	講義
教科書・参考書	

授業概要と目的
<p>歯科技工業界を取り巻く環境は日々変化している。実際に歯科技工所を運営している講師から歯科技工士業界の現状に基づき、歯科技工所を運営するにあたり必要な知識や社会人としてのマナーを学び、臨床や歯科技工業界の理解を深める。</p> <p>歯科医師として歯科病院等で臨床経験のある教員がその経験を活かして授業を行う。</p>

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標 (GIO)	「授業内容」 到達目標 (SB0s)	担当者
1	前期	会社組織の在り方 会社組織の在り方について理解する。	会社組織の中で歯科技工士としての役割を概説できる。	白石浩一

2	前期	<p>経営者としての資質</p> <p>経営者としての資質を理解する。</p> <p>開業への道のり</p> <p>経営者の考え方から開業に必要な事項を理解する。</p>	<p>取引先との関係等責任者として必要な対応を概説できる。</p> <p>社会保障等経営者として必要な知識を概説できる</p>	白石浩一
3	前期	<p>様々な分析と自己PRのやり方</p> <p>経営に必要な分析、自己分析に必要な事項を認識する。</p> <p>社会人としてのマナー</p> <p>歯科技工所の開業、開設に必要な届け出について理解する。</p>	<p>事業計画等、開業するまでに準備が必要なものを概説できる。</p> <p>開業にあたり必要な届け出について概説できる。</p>	白石浩一
4	前期	<p>CAD/CAMの現状</p> <p>デジタル技工に関する歯科技工業界の動きについて理解する。</p>	<p>歯科技工所におけるCAD/CAMの応用、3Dスキャナと現状での機械の限界について概説できる。</p>	白石浩一
成績評価方法		態度・習慣領域の観察結果		
準備学習(授業時間外に必要な学習内容)		理解を深めるために、復習して授業に臨むこと。		

学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	修了研究
担当者	井上宏美
単位数(時間数)	30時間
学習方法	実習
教科書・参考書	

<p>授業概要と目的</p> <p>専攻科を修了するにあたり各々テーマを決め、専攻科で培った知識・技術を用いて修了課題を策定し、成果物の製作にあたる。</p> <p>歯科技工士として、歯科技工所等で臨床経験のある教員がその経験を活かして授業を行う。</p>
--

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標 (GIO)	「授業内容」 到達目標 (SBOs)	担当者
1	後期	修了研究のテーマの策定 専攻科の通年教育を終えるにあたり、各々の集大成となる研究テーマを決める。	修了研究のテーマの選定ができる。	井上宏美
2	後期	修了研究の計画の策定 研究テーマに従い研究計画を立てる。	修了研究の計画ができる。	井上宏美
4～19	後期	修了研究 各々研究計画に基づいて修了研究を進める。	順序に従い修了研究計画を実施できる。	井上宏美
20	後期	発表 各々進めた修了研究の発表を行い多方面から技工を理解する。	修了研究の発表ができる。	井上宏美
成績評価方法		提出物による評価		
準備学習(授業時間外に必要な学習内容)		授業内容はノートにまとめるように努めること。		

学科・年次	歯科技工専攻科
科目名	最新技工実習
担当者	吉川俊史 横井欣弘 川本輝巳 呉林守 小森丈 井上宏美
単位数(時間数)	540 時間
学習方法	実習
教科書・参考書	最新歯科技工士教本 歯科技工実習 出版社：医歯薬出版株式会社

授業概要と目的
<p>実際の臨床技工では日々様々な症例を担当することになる。</p> <p>本授業では実際の臨床ケースを用いて、様々な症例の実際の臨床で行われる技工操作を観察、体得する。</p> <p>歯科技工士として、歯科技工所等で臨床経験のある教員がその経験を活かして授業を行う。</p>

回 (コマ)	授業日	「授業項目」 一般目標 (GIO)	「授業内容」 到達目標 (SBOs)	担当者
1～360	通年	実際の臨床における技工操作 学生の修得に応じた技工	実際の臨床における技工操作を修得する。	
成績評価方法		態度・習慣領域の観察結果。		
準備学習(授業時間外に必要な学習内容)		理解を深めるために、実習の工程を復習して授業に臨むこと。		